

わいわいタイムス

～ みんなの力で上関町をもっと元気にしよう! ～

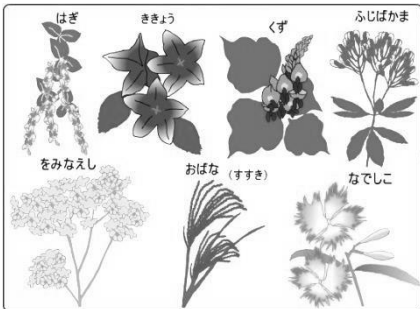
秋の七草

なんとも厳しかった今年の夏の暑さも、お盆を過ぎたころから朝夕の風が心なしか涼しく感じられるようになりました。

いよいよ9月。陽さしの加減からか、海の色も夏の爽やか色から、少し物寂しげな色に変化した気がします。見上げた空には、秋の雲がたなびき、トンボがすいーっと風に乗って飛び交い始めました。野を見れば、ほっそりと儂げでいて、しなやかな秋の花が、秋風にゆれていて、何か歌でも詠めそうな「わびさび」の世界が広がっています。

「わび」とは、静寂さや、質素さの持つ美しさ。「さび」とは、枯れた古さの持つ美しさです。どちらにも共通するのは、「美」。春の七種(ななへさ)：せり、なずな、「ぎよつ」、は「ぐら、ほとけのぎ、すずな、すずしろ」は、長い冬の終わりに無病息災を願って、滋養となるそれらの新芽を七草粥にして食べますが、たおやかに揺れる秋の七草からは、つつましい美を知ることができ、「これこそ「わびさび」を極める」ということかもしれません。

山上憶良(やまのうえの) おくら)が、秋の七草のこを詠んだ二首(万葉集・巻八)です。



秋の七草

わいわい掲示板

◆祝島に整骨院ができました

8月23日に祝島に整骨院が開院しました。

開業したのは薬師有起さん(25歳)。父親が祝島の出身で、子どもの頃から毎年1～2回は祝島を訪れていたそうです。

開院以来、島のお年寄りの皆さんに、とても好評のようです。



「やくし整骨院」

【電話】0820-66-2021

【診療時間】午前9時～12時
午後2時～5時

【休診日】水曜日、祝祭日

※各種保険・交通事故 取扱います。

来院の際は保険証をご持参ください。



◆「祝島 川口健治 絵画展

～豊かな思い出は、心のなかに～

【開催日時】9月21日(土)～23日(祝) 10時～17時

【会場】祝島公民館 2階

【入場料】無料

【主催】祝島ネット21、アトリエ Kenji

【問合せ】090-8069-5066 (國弘)



「秋の野に 咲きたる花を 指(および) 折り かき数ふれば 七種の花」
「秋の花 尾花 葛花 撫子の花 女郎花 また藤袴 朝顔の花」
◎ 萩(ハギ) 花言葉は「想い」。根は「夜闕門」といい咳止め、去痰、胃の痛み、下痢などに用いたといわれています。
◎ 尾花(ヌスキ) 花言葉は「活力」。根茎を利尿薬として用いたともいわれています。
◎ 葛(クズ) 花言葉は「根気・努力」。根は葛根湯に処方され、風邪の初期症状によく用いられますが、肩こり症にも汎用されます。
◎ 撫子(ナデシコ) 花言葉は「貞節」。「我が子を撫でるようにかわいい花」から、そう呼ばれたそうです。

◎ 女郎花(オミナエシ) 花言葉は「美人」。根は敗醬根といい、消炎、排膿作用があるといわれています。
◎ 藤袴(フジバカマ) 花言葉は「思いやり」。地上部は、お風呂に入れると、かゆみをとるほか、糖尿病に用いたそうです。
◎ 朝顔・桔梗(キキョウ) 花言葉は「変わらぬ愛・清楚・気品」。根を去痰や排膿を目的に処方されたようです。扁桃炎などには桔梗湯。蓄膿症や化膿症には排膿散。
たおやかにゆれる秋の花を眺め、心地よい風を受けることで夏の疲れが癒されてきたのでしょうか。秋は豊穡の季節であり、充足のときですが、冬に向かう前に咲きそろった秋の花の美しさを愛でることで、ひとときの安らぎを与えてもらってきたのかもしれない。

ヒラメがダブルで! 8/14
この日は朝から小祝でヒラメを狙っていましたが、昼1時まで全く当たりがないので帰ることにしました。途中、牛島のひな壇で仕掛けをおろすと即、当たりがあり少し待ってあげると上と下にダブルでヒラメが上は50cm 下は70cmのヒラメがはじめてwで釣りました。
さかもと印刷 田布施町寿町 52-2522

誰もが安心して食べられるおいしいお菓子を
自然菓子工房 欧舌
Ohshita
おおした
自然菓子工房 欧舌
〒742-1511
熊毛郡田布施町下田布施 874 番地
TEL 0820-52-2038 FAX 0820-52-2538
メール okashi@oh-shita.com
ホームページ http://www.oh-shita.com/
営業時間 10:00～19:00 定休日 日曜日

はっぴーあいらんど 祝島
民宿くにひろ
祝島 1泊2食 6000円
素泊まり 3500円
〒742-1401 上関町祝島
電話 0820-66-2053
メール: minsyuku@iwaishima.jp
http://iwaishima.jp/minsyuku/

「わいわいタイムス」を応援していただける
広告主を募集中です
広告料は1回1枠が 4000円です
お問い合わせ・お申し込みは
わいわいタイムス編集部まで
電話 090-8069-5066 (國弘)